



高潮被害で取り壊された後、新たに建設される根室漁協の栽培漁業センターの予定地(弥生町)

根室漁協

栽培漁業センターを新設

高潮被害を受けた弥生町付近の栽培漁業センターを新設。

ウニの種苗生産を開始し、年間1,996kgの生産が見込まれています。また、現在、種苗生産技術の研究が進められているナマコ・ホヤについても、ウニの空いた時期に試験的な生産を行うそうです。

歯舞漁協

荷さばき施設の整備

高潮対策として歯舞漁港の荷捌き所の床上げ、シャッターの取り替え。

ミズダコを飼育する水槽6基を新設し、より単価の高い「活ミズダコ」として出荷することで、収入増を見込んでいるそうです。

サケ・マス流し網対策 国と道が市内漁協の 施設整備へ補助

【根室市議会 7月緊急議会】

2016年7月21日

根室市議会は7月緊急議会を開催し、一般会計に4億5,182万5,000円を増額する補正予算を全会一致で可決しました。

補正予算のうち、「さけ・ます流し網漁業対策支援事業」として3億9,583万1,000円の施設整備などが全額、国と北海道の補助で実施されます。

湾中漁協

荷捌き施設の整備

FRP6トン型蓄養水槽4基、ろ過装置等の海水取水設備の工事。荷捌き施設の改築工事。

漁業者が直接市場に出荷しているアサリやホッキなど貝類を湾中漁協の直売所が買い取り、活魚水槽に蓄養して、市場価格の高いところで出荷することで単価増を図るそうです。

落石漁協

荷さばき施設の整備

荷捌き施設の屋根葺き替え、外壁塗装、トイレの簡易水洗化などの工事。

施設整備により衛生管理の推進を図り、またサケ・マスの船上活べやホッキの蓄養なども行いながら付加価値向上をめざすそうです。

切実な地域課題を北海道・根室振興局へ要望

2016年7月26日

日本共産党の釧根地区委員会と根室管内地方議員団は、北海道と根室振興局に対して、来年度予算編成にむけて管内住民の地域要望について要望書を提出し、根室振興局の担当職員さんと意見交換を行いました。

これは日本共産党として毎年実施しているもので、TPP、領土問題、漁業、酪農、教育、防災・減災、地域医療など69項目の要望事項を提出しています。

また本日の意見交換の内容をふまえて来月8月22日に、日本共産党の道議会議員と全道各地の市町村議員さんがあつまり、北海道庁に要望を行う予定です。

特に意見が交わされた項目について紙面の都合上、ごく一部分ですが、ご報告します。

海岸保全・浸食対策事業について

議員団)過去に実施した護岸なども老朽化していく中で、対策を必要とする箇所が増えていく。計画的な対応を進めていくために、国土保全の考え方をしっかりとって、数字的にも根拠を示しながら予算確保してほしい。

振興局)根室管内は100を超える地域の強い整備要望がある。全道の予算の中で今年度は約44%を重点的に根室管内に配分しているが、総体の予算が少ないために数少ない箇所しか実施できていない状況。今後も国や道へ強く要望していきたい。



サケマス流し網対策について

振興局)公海サンマは地元で資源利用できるよう国や関係機関に働きかける。サバ・マイワシは操業区域など国や既存漁業者に働きかける。関連対策として、企業訪問し経営状況や要望を聞き取りしながら支援策を紹介し、また相談室を設置して経営・金融の相談に対応している。

議員団)既存の対策だけでは、これまでの地域経済の水準を維持できずどんどん縮小し人口減に拍車をかける。国家主権、漁業外交の問題であり、既存の制度を超える形で進めていただかないと地域として成り立たない。サケマスふ化事業についても、協議会通じて具体的に市から要望が出来るような取り組みにしてほしい。

北方基金の運用益の減少による地域財源の確保について

議員団)マイナス金利の影響などから再来年以降は大変な状況。既存の対策だけでなく、新たな対策を含めて検討していくべき。

振興局)英国のEU離脱問題も長期金利への影響を進めている。既存の対策だけでよいのかどうか本庁と協議をし、1市4町とも相談をし、検証していきたい。